

第 18 回岩槻の人形博物館・史跡を訪ねて街歩き

街歩きクラブ 事務局：石黒

1. 訪問地 岩槻の人形博物館と史跡を訪ねて
2. 実施日 令和 4 年 4 月 1 日(金)
3. 集合時間 東武線岩槻駅改札口 9 時 20 分
3. 目的

岩槻は人形の町として、鴻巣と共に有名であります。人形の町だけでなく戦国時代から江戸にかけて栄えた町となっております。今日でも多くの歴史的建物や遺跡が残されており行って見たい街の一つとなっております。季節的にも桜の花に出会えるかなと思い計画しました。

4. コース

岩槻駅 芳林寺 愛宕神社 時の鐘 久伊豆神社
9:30

岩槻城址公園 浄源寺 人形博物館 岩槻藩遷喬館 料亭ほてい家(昼食)
12:30



令和 2 年 2 月 22 日に開館した岩槻の人形博物館(元の市役所跡)



岩槻駅の東口を降りた所にある、人形の町の岩槻を暗示させる、土偶の人形があった



土偶の人形のアップしたもの



大平山芳林寺、岩槻城主太田資正が東松山から移転された



境内にある太田道灌の騎馬像



1587 年豊臣軍の攻撃に備え、全長 8 キロの大構えの土塁の上に鎮座



3 月のひな祭りには階段にお人形が飾られる
(ネットより引用)



大瀧寺、1620 年藩主青山忠俊により開祖された曹洞宗のお寺



雲居山大龍寺の三門にある立派な龍の彫刻



武州鉄道は 1924～1938 年まで、蓮田から川口市の神根まで運行され、右の細い小路が線路跡



久伊豆神社の山門、ここから木に囲まれた長い参道が続く



昭和 13 年朝香宮殿下より、クジャク 3 羽奉納され大切に飼育された



新正寺曲輪にある岩槻総鎮守、元荒川流域に信仰が広まる



久伊豆神社にて、B 班のメンバーです
(樋口さん撮影)



岩槻城廃城(1871 年)後、浦和に移され 1954 年に
岩槻市に払い下げられた「黒門」



岩槻城址公園、調度桜が満開でした



公園内にあるハッ橋にて A 班のメンバー、全員で
なくて申し訳ありません



時の鐘、約 340 年前に城主阿部氏が城下に時を
知らせる為設置する、鐘は自動化されている



岩槻藩の児玉南柯が開いた私塾で現在も建物が
残っているのは県内唯一の「遷喬館」



岩槻の黒門と同規格で建築された、江戸時代より続く布袋屋(ほていや)でランチが待っていた



岩槻のガイドさんここでお別れでした。丁寧なガイドで皆さん満足しました



ランチメニューの籠膳、酒のつまみにも調度良い、美味しいランチでした



飲むより、美味しい料理に箸が進みます



美味しい料理と酒で満足満足です



汗を掻いて歩いた後の一杯は最高です